

政治を変える 本気度が試される

2010
新しい年



昨年末、100日を迎えた鳩山政権。長年にわたる自民党政治を終わらせた、国民の選択に正面からこたえているでしょうか。

国民のたたかいで前向きの変化

生活保護の母子加算の復活、肝炎対策や原爆症対策での前進、公設の「派遣村」の試みなど、鳩山政権は、部分的には前向きな動きを見せています。

これらは、国民の声と行動があれば、政治を動かせるという確信を広げるものです。



国政の根本問題では「迷走」が続く

同時に、公約だった後期高齢者医療制度の廃止や労働者派遣法の抜本改正、沖縄・米軍普天間基地問題の解決が先送りされるなど、「迷走」も続いています。前向きの変化と「迷走」の2つの要素が入り交じっているのが、鳩山政権の特徴です。

大企業中心・日米同盟絶対にメスを



志位委員長が鳩山首相と会談(12月14日)

「迷走」の原因は、日本政治の土台に長く横たわってきた「財界・大企業中心」「日米軍事同盟絶対」という、「2つの異常」にきりこむ明確な立場がないからです。「自公政治ノ一」という国民の巨大な審判に本気でこたえるのかどうか、まさに正念場の年を迎えています。

政治の転換をたしかなものにしましょう

日本共産党は、国民の「SOS」に応えながら、財界・アメリカいなしの政治の転換をめざす党。政治の前向きの変化を確かなものとするために、国民のみなさんとともにたたかう決意です。



党千葉県青年部長

さとう和子

政治を国民の手に！参議院に挑戦します



元国会議員秘書

田村智子

ちば民報

2010年1月号外 ちば民報社

千葉市中央区新千葉 3-16-15 043(241)4251

日本共産党千葉県委員会の政策を紹介します。



日本共産党